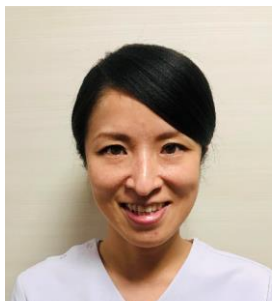


専門・認定看護師会ニュースレター

患者・家族と目標を共通し、回復過程と一緒に喜べる看護を目指しています！



はじめまして！4月から川崎市立多摩病院に入職し、救急災害医療センターICUに配属になりました、矢田理絵です。2016年に集中ケア認定看護師を取得しました。

今、集中治療で必要とされていることに、「救命」することだけでなく、患者の「**長期的予後**」=「**退院後のQOL**」を改善するために、急性期から介入することが求められています。

そのために、患者の退院後の生活の質を見据えて、多職種と協力を図り、チーム医療で患者・家族の回復過程が促進できるよう支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

～集中治療後症候群（PICS:post-intensive care syndrome）をご存知ですか？～

PICSとは、ICU退出後あるいは退院後も持続する身体障害・認知機能障害・精神障害とされ、患者家族に起こる精神障害はPICS-Fと言われます。

集中治療の結果、せっかく命が助かって、実は退院後に患者のQOLは低下し「その人らしく生活できていない現状」があることが注目され、予防する必要性が言われています。

<PICSの症状>

身体機能障害	体重が減り、筋力が低下したため運動能力が著しく低下し、日常生活に必要な動作をできなくなるといった症状
認知機能障害	お金の計算ができない、忘れっぽくなった。何かに注意を払って生活をするのが難しくなったなど認知機能の低下症状
精神障害	不安や気持ちの落ち込み、ICUでの記憶がないことや恐怖体験を思い出し眠れないなど、心的外傷後ストレス障害（PTSD）などの症状
家族の精神障害	家族も患者と同様に、ICUでの治療や患者の危機に直面した不安や恐怖のストレスからPTSDなどの症状が出現

～退院後、患者家族に笑顔で楽しく過ごしてもらうために～

PICSのリスク因子として、深鎮静・せん妄・不動化などが考えられ、リスク因子を低減することはPICS予防に重要であると考えられています。

私たち看護師は、「退院後、患者・家族に笑顔で楽しく過ごしてもらう」ために、退院することがゴールではなく、退院後のQOLを考えた看護を提供する必要があります。

そのために、退院後に患者家族に起こり得るPICSについて知り、多職種と協力を図り、入院中から**患者がその人らしく過ごせる、薬剤コントロール・せん妄予防・早期離床**を継続的に提供していきましょう！